

生産者現地視察相談会実施内容

- 1 事業名 令和6年度 生産者現地視察・相談会
- 2 目的 管内の「食」関係事業者は小規模が多く、生産に追われ効果的な売り込みを実施できていない状況にあるため、食の専門家であるバイヤー等が、生産現場に赴き、商品の魅力や販路拡大のためのストーリーなどを発信し商談を効果的に進めるための商品カルテの作成を支援する。
- 3 実施日 令和7年1月10日(金)
- 4 訪問者 北海道貿易物産振興会 国内販路支援部 次長 山上 靖史 氏

訪問先① くしやフーズ 10:00~11:00

新ひだか町静内吉野町2丁目2-6 炭火焼居酒屋 串や

■ 視察内容



新ひだか町の支援を受けて静内農業高校の生徒と共同開発した静農ブランド商品「日高昆布かおる旨塩だれ」・「ミニマトゆたかスパイシーカレーだれ」について、より一層の販路拡大を検討しており、価格(卸価格・販売手数料)をはじめ、取引先の開拓や商品のPR(商品の使用用途の紹介方法)について相談し、類似商品の価格動向や、販売手数料率などについて専門家から説明を受けました。

訪問先② アポイ山荘 13:30~14:30
北海道様似郡様似町字平宇 479-7

■ 視察内容



観光客から喜ばれるお土産を作りたい思いから開発を行い製造した商品「木菓のバターサンド」は、北海道産のバターや小麦、地元様似町の特産品を可能な限り使用した各種フレーバーを用意し、商品のパッケージにはアポイ岳のかんらん岩の顕微鏡写真を使用している。今回、この商品の販路を拡大する際に注意すべきこと、どさんこプラザテスト販売制度の利用方法、小売・卸売事業者との商談対応について相談し、商品カルテ作成、他店舗のバターサンドとの差別化及びPR方法などについて専門家から説明を受けました。

訪問先③ 手取菓子舗 15:00~16:00
浦河町大通3丁目19

■ 視察内容



浦河町内の他店舗と協力し開発中の商品について、原材料の一括表示についての相談や、販路について北海道どさんこプラザ札幌店のテスト販売制度を使えるのか等を相談し、北海道物産振興会が実施する商談会などといった事業者向けの支援策について説明を受けました。また、店頭で販売中の一部商品が価格や内容量が手に取りやすく、どさんこプラザでの販売に好適品であるとして、どさんこプラザテスト販売制度の活用を奨められました。